

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、15～22℃台を示し、やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケで漁獲日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり1.4トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年並み）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週の64%（前年を下回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――出漁日数が少なくケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり4kgの水揚げで、前週の33%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり699kgの水揚げ。北松生月地区では、シイラなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり18kgの水揚げ。対馬東岸地区では、アオリイカなどが1日1統当たり48kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり283kgの水揚げで、前週の2.6倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/10～12/13日の4日間）沖合イカ釣り船、船凍船は大和堆周辺～北海道西沖に出漁するも荒天により入港船あり。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、山口沖～浜田沖～能登半島～北海道西沖に出漁。荒天により出漁船僅か。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。期も主漁場が能登半島以北に移り、山陰沖は月夜及び時化等で出漁船は殆どなかった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>